

■ 2013.07.26 インド&ロシア周辺国へ ■



【出発ロビー】

今日から学校は夏季休業に入った。  
もちろん我々教師は通常勤務。  
本日夜から、インド&ロシア周辺国へ向けての旅が始まる。  
秋田空港 20:35 発 JAL 最終便→羽田 21:45 着。  
羽田発 01:30 のフライト（エミレーツ航空）で、ドバイ経由  
バンガロール。  
明日 18:40（日本時間 22:10）到着予定。

■ 2013.07.27 ドバイ国際空港にて ■

羽田から 10 時間半の長旅を経て、ドバイ国際空港到着。  
エコノミークラスの狭い座席で 10 時間越えはきついが、それでも 3 人掛けの座席の真ん中が  
空いていたのはラッキー！ バンガロール行きフライトの待ち時間は 6 時間。  
空港内に無料の Wi-Fi はなく、時間つぶしはリクライニングチェアで休むことぐらい。  
それにも飽きて空港内を散策。搭乗ゲート（A12）近くにハイネケンの看板を見つける。  
ちょっと一杯のつもりで入ったが、生ビールの大（？）を 2 杯とフィッシュ&チップス。  
店内では無料 Wi-Fi が利用できた。早速ニュースやメールチェック。  
ご覧の写真を、フェイスブックに投稿。スマホからのフェイスブック投稿は楽でいいなあ。  
ココログアプリも見習って欲しいもの。



【ハイネケン生】



【フィッシュ&チップス】



【エミレーツ航空機内食】

■ 2013.07.27 バンガロール到着 ■

18:40（日本時間 22:10）予定通りバンガロール空港に到着。  
入国審査をしたあとに、何でまた荷物検査があるのか、よくわからん。  
エアポートタクシーでホテルへ。1500 ルピー（値段がまた上がった）。  
運転手さん、ホテルの場所がわからずウロウロ。地元の人に聞けばいいのに、電話ばかりし  
てる。結局、走っている途中で、僕がホテルを見つけるという落ち。  
どっと疲れる。シャワーに感涙後、ルームサービスでビールを注文するも、半分しか飲めず。  
爆睡…。



【バンガロールのホテル】



【King Fisher Beer】



【ホテル朝食】

■ 2013.07.28 ボラれましたね ■

朝5時に目覚める。疲れはますますとれたような…。8時半朝食。  
オートリキシャーでマニヴァサカン氏のアガスティア館へ。  
リキシャー料金は往復 1200 ルピーとのこと。高いが、1時間も待たせるのでしょがないか  
と思い、OKした。この運転手もまた、目的の場所がわからず、うろうろ。  
住所では探せないようだね。インドでは…。  
アガスティア館では、新たに2つのカンダムの取り出しと、3つのプージャの依頼をした。  
受け取り予定のお守り3種は夕方取りに来て欲しいとのこと。もう一度同じ場所に行くので、  
このドライバーにまた依頼することにし、1000ルピーだけ払ってホテルで休憩。夕方、出発前、  
ホテルのフロントにリキシャーの相場を尋ねてみた。  
すると、なんと片道100ルピーほどだという。6倍もふっかけやがったか…。  
再び現れた運ちゃんに、文句をいってくれ、2回目は「タダ」になった。  
(つまり、往復一回が500ルピー)日本円だとたいした額じゃあないのだが…。  
また、おもしろい旅のネタ話ができたからよしとしよう。  
というわけで、夕方4時すぎ再びアガスティア館を訪問し、受け取り完了。  
ホテルへの帰路、酒屋によってビールとラム酒を調達。夕食はホテルで。  
本場チキンカレーはさすがに旨いっ!!キング・フィッシャー・ビールもね。



【リキシャー】



【マニヴァサカン氏】



【絶品インドカレー】

■ 2013.07.29 インド出国 ■



【マトン・ビリヤニが美味】

ホテルをチェックアウト。タクシーでバンガロール空港へ。  
前日ホテルのWi-Fiで、オンライン・チェックインをしていた  
から、余裕のよっちゃんです。ネットで座席も指定できるのは便  
利ですね。10:25 ドバイへ向けフライト。

機内食のマトン・ビリヤニが超美味しかった。12:50着。  
今回もまた、空港での待ち時間が5時間。長くて閉口。  
リクライニングチェアに座っていても疲れるモンですね。  
免税店でアイリッシュ・ウイスキーのハーフ瓶を購入。  
17:50 モスクワへ向け飛び立つ。

■ 2013.07.29 モスクワ到着 ■

ドバイからの機内では、日本映画「相棒 X-Day」「県庁おもてなし課」そして「プラチナ・デ  
ータ」の続きを見る。食前酒は、ハイネケン。食中は赤ワイン。機内食はチキンを選択。  
22:55 予定通り、モスクワ、ドモジドヴォ国際空港へ到着。



【COSMOS HOTEL】



【朝食】

高速鉄道アエロ・エクスプレスで市内へ向かおうと駅へ。  
自動発券機で、切符を買おうのに手間取っていると、係員らしき男が寄ってきて画面をタッチ  
操作、切符は買えない(と言っているらしい)とにかく、タクシーを使え使えと何度もいう。  
隣の発券機でもだめだったので、一度諦め、タクシーにしようかと向いかけたが、やっぱりお  
かしいと思い、引き返す。

今度は駅員らしい人をつかまえて、切符はどう買えばいいか聞いたら、発券機を操作してくれて無事切符が買えた。320P (ロシア・ルーブル)。約 960 円。

そうか、さっきの男は俺を騙そうとしたんだ！くわばら、くわばら。

モスクワは油断のならないところだ、と気を引き締める。

出発から 45 分で、国鉄パヴェレツ駅→地下鉄パヴェレツカヤ駅から、5 号線 4 駅でプロスペクトミーラ。6 号線に乗換 3 駅でヴェー・デー・エヌ・ハー下車。

「ホテル・コスモス」到着は深夜 1 時。

#### ■ 2013.07.30 モスクワ市内観光 ■

ホテルの朝食はバイキング形式。つい食べ過ぎでしまう貧乏的なボク。

疲れをとるため午前中は部屋で休養。11 時過ぎ、市内へ。最初に向かうのはキエフ駅。

キエフ行き寝台列車のチケットをゲットするためだ。駅を見つけるのはたやすかったが、表記がロシア語のため、どの窓口で買えばいいのかまったく分からない。

目星をつけて並んだ窓口はやっぱり違っていた。(涙) 「あっちの窓口へいけ」と言われ (ロシア語はわからないが、状況からそう判断)、次に並んだ窓口で待たされること約 20 分。

日本で用意していたロシア語の紙を見せた。寝台切符を買いたいことは理解して貰えたようだが、向こうに何か言われてもさっぱりわからん (涙) すると向こうが察して、「イングリッシュ？」と言ってくれた。ああ、よかった英語でしゃべって貰った。( ^\_^ )

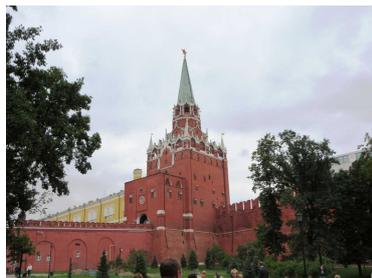
というわけで、なんとか 2 等寝台切符 (4420.5 ロシアルーブル=約 13300 円) をゲット。

小さくガッツポーズして、市内観光に向かう。

モスクワの観光地と言えば、超有名な「クレムリン」「赤の広場」周辺。観光客の数の多さに驚く。アジア系の団体は中国がダントツ。

夕方ホテルに戻る途中スーパーマーケットを発見。ビール 2 本とウオッカ、水、サラミを買う。

サラミをつまみに飲んでいたら、夜を待たずに爆睡。( ^\_^ )



【クレムリンの塔】



【赤の広場】

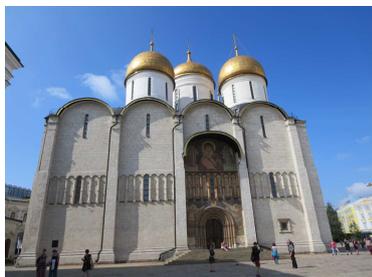


【聖ワシリイ大聖堂】

#### ■ 2013.07.31 クレムリン見学 ■

地下鉄でクレムリンへ行こうと決心。前日、赤の広場から歩いて乗った駅で下車して同じ場所に向かおうとしたが、道がわからず行けなかった。(涙)

結局もとの駅に戻り、二回乗り換えてクレムリン。午後 4 時近かったので、チケット売り場はさほど込んではいなかった。共通見学科金は 350 ルーブル。荷物を預けて、トロイツカヤ塔から中へはいる。ウスペンスキー大聖堂、リザパラジェーニャ教会、イワン大帝の鐘楼、アルハンゲルスキー聖堂、ブラゴヴェシチェンスキー聖堂などの内部を見学。



【ウスペンスキー大聖堂】



【イワン大帝の鐘楼】



【リザパラジェーニャ教会】

午後 6 時すぎ、キエフ駅 (モスクワ) に到着。向かいの大きなデパートで時間を潰すことにする。電気店や食料品店を見てまわる。鮮魚売りが面白かった。

歩き疲れたのでビールでも飲もうかと店にはいる。ビールを 1 杯飲んだらおながすいてきたので、ロシア風焼きそばを注文。けっこういけた。

9 時 20 分寝台に乗車。4 人用個室に 3 人。下段座席でよかった。( ^\_^ ) 9 時 57 分発車。



【アルハンゲルスキー聖堂】



【ブラゴヴェシチェンスキー聖堂】



【ロシア風焼きそば】

■ モスクワ観光2日目 ■

キエフ行き寝台列車は夜10時頃の出発。それまで時間を潰さなければならぬ。

チェックアウトぎりぎりの12:00まで部屋で過ごし、いまこうしてロビーでブログ更新作業。13:30頃になったら出かけようっと。



【マクドナルド】



【スターバックスコーヒー】



【寿司レストラン】

■ 2013.08.01 VISA 申請却下 ■

ウクライナの首都キエフに到着。駅についてから、座席で待たされ入国審査。

駅を出てすぐ、ベラルーシ大使館へ向かう。地図で確認したはずが、場所がわからない。

地元の人に尋ねてもだめ。結局タクシーでつれてって貰う。

ビザ申請は、14:30～17:00と分かり、タクシーでホテルへ。13:00チェックイン。

昼食に、日本から持参した「わかめご飯」(アルファ米。お湯15分でできる)とお味噌汁をいただく。やっぱり和食はいいなあ。

15:00過ぎもう一度大使館へ。申請を行うも、あえなく却下。

ホテルの予約、列車の切符、入国目的の3つがだめだそう。

ビザを取ってからやろうとしてもダメなのね。

「ふん、いいや、それなら。お前の国なんか行ってやるもんか。」と、急に子どもの思考に戻り、駅に向かう勲ちゃんであった。旅程変更。ワルシャワ(ポーランド)へ向かうことにして2等寝台のチケットを購入。965グリヴナ(約1万円)。

帰路、飲み物を購入。ビール1本約7グリヴナ(72円)。

水1リットルも同じくらい。

夜はポトチップをつまみにビール2本飲んでおしまい。

なぜか、食欲わきません。



【キエフ駅付近】



【麦酒一本72円】



【郵便ポストの様なシャワー】

■ 2013.08.02 キエフ観光 ■

朝食は、日本から持参のお味噌汁。インドのホテルから持ち出したインスタントコーヒー。どうして食欲が無いのか不思議。

今回もまたチェックアウト時間の12時までホテルで過ごすことに。  
 さっき、ネットでワルシャワのホテルを予約しましたよ。  
 そして、こうしてせっせとブログ更新に精を出していると言うわけです。  
 午後、キエフ観光へ。キエフ駅から地下鉄に乗る。最寄り駅を出て目的地まで徒歩。  
 また地図を読み間違えたらしい。地図を見てきょろきょろしていたところ、女性が「May I Help You?」と話しかけてくれた。「ソフィア大聖堂を探している」と、答えたら途中まで案内してくれることに。英語はあまり得意ではなさそうだが、一生懸命説明してくれ有り難かった。  
 世界遺産ソフィア大聖堂、黄金の門、聖ミハエル聖堂黄金ドーム修道院を見学。

キエフ駅に戻り、待ち時間に生ビール。外で飲むのも旨いもんですね。  
 ビール2杯、水、パン、ガム、チョコバー。余ったウクライナの通貨「グリヴナ」を、気のいいおじさんのこの店で全部使い切る。



【ソフィア大聖堂】



【黄金の門】



【聖ミハエル聖堂黄金ドーム修道院】

■ 2013.08.02 ワルシャワ行き寝台 ■

15:52 発寝台でワルシャワへ。2人用個室に1人だけ。ラッキー！と思ったら、出発2時間後におじさんが乗り込んできた。これまた気のいい人で、片言の英語で話しかけてくれ、似顔絵まで描いてくれた。おじさんは24時頃に列車をおりていった。

01:30頃、急に起こされ、入国審査。列車の点検やら何やらで2時間あまりまで停車。

その間パスポートを持って行かれたまま。03:30ようやく出発。

鍵をかけて寝ていたら、大柄なおばさん2人が乗り込んできた。おいおい、ベッド2つでどうやって3人寝るんだ？すると比較的の小柄なおばさんは補助椅子に座るではないか。

日本の寝台と違い、仕切りカーテンなどはないので、シーツをかぶって眠る。

あーあ、ワルシャワまで、ずっとこの状態かよ…。と思ったら、朝6時前、2人は降りていった。その後は、終点までずっと1人部屋で快適でした。( ^\_^ )v



【ワルシャワ行き寝台列車】



【車内】



【おじさん自画像& 勲似顔絵】

■ 2013.08.03 ワルシャワ観光 ■

09:03 ワルシャワ中央駅到着。モスクワからキエフ行きの寝台でもそうだったが、どうして列車を降りるまで切符を取り上げるのか理解に苦しむ。

最初に、ヴィリニウス（リトアニア）行きの2等寝台チケット（116.42PLN = 約3600円）を購入。英語が通じたうえ、初めてカード払いで切符が買えた。次に20ドルを両替。63.2PLN。

その後、ホテルに向かう。珍しく、一度も迷わず行けた。

チェックインは15:00からなので、荷物を預け、観光へ向かうことに。

念のためPCに入れておいたポーランドのガイドブックは、地下鉄や市電などの情報が載っておらず、行き方が全くわからない。

駅構内に観光マップなどないか探したがだめ。仕方なく、見所である旧市街まで歩く。

ワルシャワは、首都なのに静かな街だ。公園がいたるところにあり緑が多い。

木々によって日陰ができ、歩きやすい。何より人々がのんびりした感じ。

外に出したテーブルでビールを飲んでうらやましい限り。14:20 チェックイン。

アパートメントタイプの素晴らしい部屋。食器や鍋があり、自炊も出来る。4600 円という低価格で宿泊できたのはラッキー。

中央駅近くのスーパーで食料やお酒を購入。ワイングラスで贅沢気分。

期待して買ったお寿司は、やはりシャリがだめでした（醤油とガリは旨かったです）。

インスタントラーメンは塩味っぽくて結構いけました。



【ワルシャワ王宮】



【王宮広場の風船売り】



【大統領宮殿】



【ヴィジトキ教会】



【ポーランドワイン】



【外国寿司はシャリが難】

#### ■ 2013.08.04 ヴィリニウス（リトアニア） ■

07：22 発の列車（ICC）でリトアニアの首都ヴィリニウスへ。

乗車前、ポーランドの通貨を使い切るため、ビールとハムを購入。車内でおいしくいただく。

エアコンのない車内は暑くてたまらず、持参の扇子が役に立つ。Trakiszki 駅でバスに乗り換え。

13：30 出発。1 時間 35 分で Sestokai 駅着。

と思ったら、時差が 1 時間あり、35 分で到着でした。15:10 古い列車で出発。Kaunas 駅到着 16:45

ここでまたも乗り換え。今度は最新のきれいな列車。エアコンが効いていて天国（^\_^）v

ヴィリニウス 18：16 着。まずは、駅構内の ATM でリトアニア通貨をキャッシング。

次に、駅向かいのバスステーションで、リーガ行きのバスチケットを購入。

45Lt（リタス。約 1600 円）



【おんぼろバスに乗り換え】



【お洒落な部屋】



【スーパーの総菜と麦酒】

よーし、あとはホテルだあ。と地図を片手に歩き始める。30 分ほどで着くはず。が、…。

40 分近く歩いても着かない。運良くおまわりさんを見つけ、道を尋ねる。

「この道を下って、二つ目の交差点を右だ」と教えてくれた。英語が通じて嬉しいなあ。

でも、結果からいうと、右ではなく左だったんです。おかげでもう 30 分も費やす羽目に…。

で、その交差点まで戻ってから、そこらへんだと分かった。

地元の人に何度も尋ね、わかった場所は…。通りの裏口にあるビルの扉に、ホテルの名前が紙

で貼ってありました。わかるか、そんなもん。ちゃんとホームページに大きく書いとけ！（怒）

部屋に入って一息ついたときは、もう 8 時半を回っておりました。

でも、感じのいい人達とお洒落な部屋のホテルで、満足しました。

街を迷走しているときに見つけたスーパーでビール 2 本と総菜を買い、夕食としました。

物価安いです。特にビールが。1 本 50 円くらいです。

■ 2013.08.05 ヴィリニユス観光 ■

8:00 チェックアウト。ヴィリニユス旧市街を観光。

大聖堂&カテドゥロス広場、聖アンナ教会、旧市庁舎などなど。9:20 駅に到着。  
待ち時間に生ビール。(^^)



【ヴィリニユス大聖堂】



【聖アンナ教会】



【聖カジミエル教会】

■ 2013.08.05 リーガ (ラトビア) ■

10:00 ラトビアの首都リーガに向け、バスで出発 (所要 4 時間半)。

きれいで快適なバス。エアコンが効きすぎ寒いくらい。 14:30 リーガのバスステーションに到着。ここから歩いてすぐの場所にホテルをとっておいてよかった。

ちなみに、ラトビア入国で、めでたく世界 60 カ国訪問達成! (^ ^)v

夕方、リーガ駅へ。はじめに、サンクトペテルブルグへの 2 等寝台チケット (55Ls = 約 1 万円) を購入。ここでもカード払いはできず ATM で 70Ls (ラツ) をキャッシングしての支払い。次に余ったリトアニアのお金 30 リタスを両替。5Ls ちょいが戻ってきた。

その後、駅構内のスーパーで白ワイン、ビール、ピスタチオを購入。

リトアニアより少し物価は高い。ホテルに戻り部屋に入ろうとするが、カードキーが反応しない。フロントに言って直して貰うことを 3 度繰り返したがだめ。「壊れてるんじゃないの」と抗議。一緒に来てもらい、やってもらっても、勿論ダメ。

結局カード交換。最初からそうしてくれい…。気を取り直し、近くのレストランでビール。

(こればっかし) (^ ^;) オーダーの際、唯一英語が通じた (涙)、チキンナゲットを食す。

彼女の英語は早口でほとんど聞き取れませんでした。

でも、べつに怒らなくてもいいんじゃない… (涙)。



【リーガ行きバス】



【麦酒&チキンナゲット】



【ツイン風ベッド】

■ 2013.08.06 リーガ観光 ■

ウェルトン・オールド・リーガ・パレスは 4 つ星ホテル。

朝食バイキングをおいしくいただく。シャンパンがついたのにはさすがにビックリ。

例によってチェックアウトぎりぎりの 12 時まで部屋で過ごす。

その後は 13 時までネットをやって過ごし、荷物を預け、市内観光へ。

リーガ大聖堂&トゥアマ広場、聖ヤコブ教会、聖ペテロ教会、聖ヨハネ教会、ブラックヘッドの会館など。徒歩圏内にみどころがいっぱい。

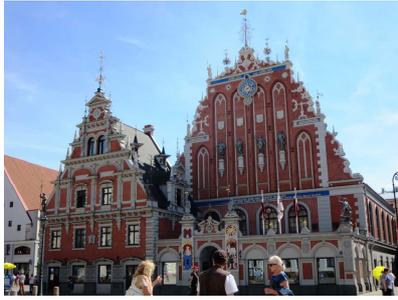
ホテルに戻り 1 時間休憩。ディバックを背負って中央市場へ。広い広い。

露店を合わせると、いったい何軒店があるんだろう。バルト海の鮮魚、燻製が面白かった。

発車時刻までの時間つぶしに、ビール。(すみません、こればっかしで…)

余ったお金を使い切るため、スーパーマーケットで食料とお酒を買い込む。

18:35 発寝台で、最終目的地サンクトペテルブルグ (ロシア) へ。



【ブラックヘッドの会館】



【リーガ大聖堂】



【聖ペテロ教会】



【三人兄弟】



【トゥアマ広場の生演奏】



【中央市場】

■ 2013.08.07 サンクトペテルブルグ到着 ■

2等寝台（個室）の切符を買ったつもりが、乗ってみたら3等寝台（開放寝台）だった。そうか、窓口で104ラツツと提示されたのは、「2枚」じゃなくて「2等」のことだったのか？ まあ、いいか、安くて。倍近く違うもんなあ。（^\_^）

時刻通り、10:25 サンクトペテルブルグのヴィテプスク駅に到着。

隣接の地下鉄駅からホテルのある地下鉄まで3駅。いたってスムーズな行動。ロシアの地下鉄はもうバッチリ！

モスクワ・ホテルに今日から3連泊。毎日の移動に疲れ果てたので、今日、明日はホテルで過ごすつもり。

リーガで調達した食料で、朝食兼昼食。写真のように、鮭を醤油とわさびで。

あー和食恋しいよう。（\*^\_^\*）夕方、水を調達にホテルの外へ。そしてら、隣のビルの地下がスーパーマーケットだった。食べ過ぎたので、カップ麺とチキンと赤ワイン。



【三等寝台】



【醤油と山葵がたまりません】



【モスクワホテル】

■ 2013.08.08 エルミタージュ美術館 ■

「ロシアに興味の無い人でも、ここだけは行ってみたいと誰もがいう。」と、「地球の歩き方」に書いてあった。サンクトペテルブルグ観光では、絶対にはずせない名所。

自動販売機にて、チケット購入。400P（ルーブル）。英語表示に切り替えができたので楽に買った。自販機で買わないと、長い列を作って購入しなければならないみたい。（そうとは知らずにチケットを握りしめたまましばらく列に並んでいたおっちょこちょいなボク…（^\_^）係のおばさんが目ざとく見つけてくれ、「この列じゃないわよ。中に入りなさい」という意味のことをロシア語で言ってくれたと推測。（^\_^）v

中は、広い広い。展示室は3階まであり、まるで迷路。1時間や2時間ではとても回りきれぬ物ではない。この美術館は、4つの建物から成り立っており、そのうちのひとつ「冬宮」は、皇帝が冬に過ごす宮殿だった。だから内装も見事。

有名な画家の絵は、「リッタの聖母」（ダビンチ）、「聖家族」「コネスタビレの聖母」（ラファ

エロ)、「扇子を持つ女」「ジャンヌサマリーの肖像」(ルノワール)、「果実を持つ女」(ゴッホ)などなど。枚挙に暇ございません。宮殿装飾では、「パヴィリオンの間」、「大使の階段」「聖ゲオルギーの間」など。それはそれは素晴らしいものでした。あっという間の3時間。もうへろへろ。



【エルミタージュ美術館外観】



【大使の階段】



【将軍の廊下】



【パヴィリオンの間】



【黄金の孔雀時計】



【スペイン天窓の間】

■ 2013.08.09 サンクトペテルブルグ観光 ■

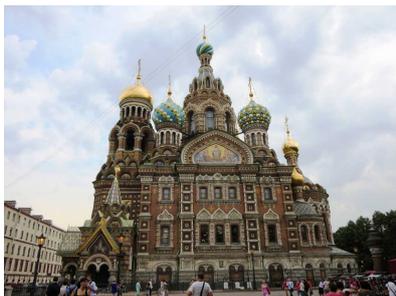
昨日はエルミタージュ美術館周辺のみ観光だった。今日は、ネフスキー大通り周辺を観光。モスクワ・ホテルから地下鉄2駅で、ネフスキー・プロスペクト駅。

まずは、「血の上の救世主教会」を見学。運河沿いに立つこの純ロシア風教会の外観は素晴らしい一言。250Pの料金を支払って内部も見学。ここも、フラッシュをたかなければ写真撮影OKなのが有り難い。周辺には土産ものの露店がたくさん。こどもたちへのお土産に「マトリョーシカ」を購入。ロシア土産の超定番ですね。(\*^ ^\*)

次に見学したのは、ネフスキー大通りに面した「カザン聖堂」。内部は無料で見学できる。

ちょうど、結婚式か何かの儀式だったらしく、賛美歌の生歌が建物いっぱいに響いていた。

ホテルのある方向にネフスキー大通りを歩いて町並み観光。運河が多く、観光船がたくさん発着している。お踊りの建物は、当時最新流行の建築スタイルを競って建てられたそうで、これを見て歩くのは楽しかった。



【血の上の救世主教会】



【運河の観光船】



【カザン聖堂前広場】

■ 2013.08.09 ビーフストロガノフ ■

「ビーフストロガノフ」とは、肉やキノコがホワイトソースでじっくり煮込まれた料理。

ストロガノフ家の家庭料理から名付けられたそう。日本でも有名ですね。もうひとつ有名な、「キエフ風カツレツ」は、「チキン・キエフ」って、メニューに書いてました。

「ピロシキ」は、まだお目にかかってません。ライ麦を使った酸味のある黒パンも名物だといふので、食べてみたけど…。好みではありませんでした。

ちなみに、滞在中に飲んだロシアビールは、次の3種。

- バルチカ = 一番メジャーなビール。
- シビルスカヤカローナ = 「シベリアの王冠」という意味。
- ネフスコエ = サンクトペテルブルグの地ビール



【ビーフストロガノフ】



【ネフスコエ麦酒】



【カップ麺にワイン】

■ 2013.08.10 最終日 ■

この旅も、とうとう最終日。観光はもう十分。ゆっくり過ごすことにしよう。

3日連続、毎日寸分変わらず同じメニューのバイキング朝食に辟易しながらも、時間をかけて優雅にコーヒーなどいただく。部屋に戻って、3度目の朝風呂。ロシアで宿泊したホテルは、2つとも浴槽があって嬉しい。(\*^\_^\*)

あとは、ブログ更新にネットサーフィンなどして、完全にゆったりモード。これもまた旅の楽しみか。勲ちゃんの旅行記をご覧下さったみなさん、ありがとうございました。m(\_ \_)m

チェックアウト後のスケジュールは以下の通り。

地下鉄4号線3つめで乗換。2号線6つめでモスコフスカヤ駅。駅前からバス13番21P(所要20分)でプールコヴォ2空港へ。

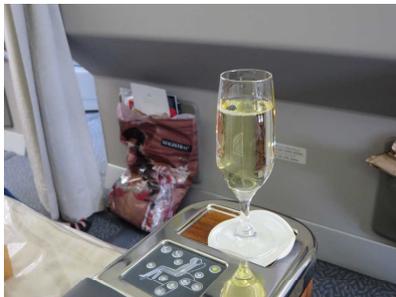
Санктペテルブルグ 18:30 発 ドバイ 00:35 着 (6時間5分) <乗換2時間15分>

11日 ドバイ 02:50 (07:50) → 17:35 成田 (9時間45分) <乗換2時間50分>

ANA 879 羽田 20:25 → 秋田 21:30

■ 2013.08.11 祝、2年連続！ ■

Санктペテルブルグからドバイまでの飛行機は、なんと！ ビジネスクラスに変更されました。もちろん無料のアップグレードでございます。一人旅だとこういうことが偶にありますが、二年連続の幸運でした。



【ウエルカムドリンクはシャンパン】



【前菜でこの内容】



【余裕の広さで快適至極】

■ 2013.08.11 帰国しました ■

ドバイ国際空港で乗り継いだ便は、通常通り、エコノミークラスでした。(\*^\_^\*)

それでも、3人掛けの座席の真ん中が空席で、またまた超ラッキー。日本までの約10時間、楽に過ごせました。時差ボケ対策のため、機内ではずうっと映画を観ていました。2時間ものを3本。実はボク、飛行機で日本映画を観るのが好きなんです。何故かって？英語の字幕を読むのが面白いんです。例えば、「いただきます」の英語字幕が Thank you だったりします。日本語の言い回しは、奥が深いのに。英語だとあっさり。日本語の奥深さは、英語では表現できないんだろうな。

17:30 成田空港到着。入国審査が速くて嬉しい。あっという間に通過。18:10 羽田行きリムジンバス(片道三千円)出発。19:30 羽田着。20:25 秋田空港行き ANA フライト。

秋田県北部の記録的豪雨による影響で、秋田新幹線はこの日も不通のまま。いつも通り列車で帰郷する予定にしていたら明日の勤務はできなかった。これまた幸運だなあ。

自宅に戻ったのは10時半頃。荷物を置いて、駅前ヤーマンに直行。日本酒と冷や奴。あーやっぱり俺は日本人だなあ。(^^)v